

すくい 議会だより

No.90
2014.7
編集 議会広報編集特別委員会



●今号の主な内容

6月定例会のあらまし…2～5

町の考えをたずね

一般質問 8議員が登壇…6～14

常任委員会行政視察報告…15～16

議員クローズアップ…17

皆さんからのご意見／ふるさとへの便り 56…18～19

●今号の表紙／まちの笑顔シリーズ
「安庭野球スポーツ少年団」

6月定例会のあらまし



6月定例会を終えて

雫石町議会議長 猿子 恵久

平成26年第3回雫石町議会定例会(6月定例会)を終えての所感を述べさせていただきます。

今定例会の会期は、6月6日から13日までの8日間となりました。8名の議員が一般質問に立ち、人口減少時代のまちづくりや小学校の適正配置についてなど多岐にわたり、当局と活発な議論が交わされました。また、国庫補助金「がんばる地域交付金」を活用した陸上競技場の改修工事や道の駅施設改修工事に係る一般会計補正予算が上程され、慎重審議の結果、可決されました。このほか、地域医療の充実を図るため、現在閉鎖となっている西山と御明神の各診療所を雫石診療所の出張診療所として開設するための条例の一部改正や固定資産評価審査委員会委員の同意案件、さらには、請願・陳情についても現地調査を実施しながら審査報告がなされました。

さらに、平成23年9月議会で設置された「議会改革特別委員会」の事務調査が終了し、6月

13日に委員長から議長に最終報告書が提出されました。議員定数の見直しや議会基本条例の制定など町民の声を議会活動に結び付けていく基本姿勢が示されたものと思っております。

今後、インターネット配信を利用した議場内の映像配信についても早期整備を図っていくこととしております。

今年度も8月に町内6会場で「町民と議会との懇談会」を開催する計画をしています。この懇談会は、住民の皆様方から意見や要望などを直接お聴きし、議会活動に反映させることを目的に一昨年から開催しているものです。議会だより折込チラシなどで日程をお知らせしますので、多数の参加をお待ちしています。

以上、諸般について申し上げましたが、今後とも本町議会に対するご理解、ご協力をたまわりますようお願い申し上げ、議会報告といたします。

補正予算2億5,670万4千円を可決 網張温泉更新工事、道の駅改修工事費などを計上

平成26年6月定例会は、6月6日から6月13日まで8日間の会期で行われました。

本定例会では、報告7件と承認案件が3件、条例改正等案件が4件、補正予算案件が4件、契約変更案件が3件、財産取得案件が2件、人事案件が1件あり、これら計17件の案件は全て原案通り可決しました。

このほかに、請願2件と陳情1件を採択し、これらに関する議員発議案3件を可決しました。また、陳情1件を一部採択としました。

一般質問は、8名が登壇し、2日間にわたり町政についてたどしました。

条例の一部改正

○雫石町立雫石診療所条例の一部改正について

旧西山診療所及び旧御明神診療所をそれぞれ町立雫石診療所の出張診療所と定める旨の規定を追加しようとするもの。

○雫石町簡易水道施設設置条例の一部改正について

大村地区簡易水道施設を設置するため、給水区域に南畑第2地割の一部ほか13区域を、給水人口に316人を、給水量に196立方メートルをそれぞれ追加しようとするもの。

平成26年度一般会計補正予算

○一般会計補正予算（第1号）

補正前の額	補正額	計
86億2,000万0千円	2億5,670万4千円	88億7,670万4千円

▶西山・御明神出張診療所改装工事費	442万9千円
▶網張温泉源泉設備更新工事補助金	4,320万0千円
▶道の駅施設改修工事費等（増）	1,919万0千円
▶銀河ステーション施設改修工事等	261万9千円
▶陸上競技場改修工事（増）	3,161万5千円
▶クロスカントリースキー場圧雪車購入費	2,776万7千円

○主な質疑

問 網張温泉源泉設備更新工事補助金は、環境省の許可を受けて、工事費も確定してから予算計上すべきではないか。

答 今年の雪が降る前に、緊急に工事をしなければならぬ状態にあるため、環境省にも現場を確認していただき、協議を重ねてきたところであり、許可はいただけるものと考えている。また、この予算額も関係者がそれぞれ提示し合いながら詰めてきたものである。



現在の網張温泉源泉

問

休暇村岩手網張温泉が実施主体となつて行う工事に、町が補助金を出す形であるが、工事の透明性等を確保するため、源泉の所有者である町が直接、工事を行うべきではないか。

答

町と網張温泉との契約で、造湯施設、引湯施設の維持管理に係る部分は網張温泉が行うこととされており、これまでの補修工事等は網張温泉で実施してきている。

また、現地や設備内容を熟知しているところの方が、効果的、円滑に工事を進められると判断した。

問

道の駅雫石あねっこについて、排水熱利用ヒートポンプ、太陽光発電などを整備し、重油代を年間1,500万円程節約している先進事例の導入を提案した際に、今後、具体化に向け検討するとしていたが、それはどうなったのか。

答

経年劣化があり、お客様からの要望もある。従業員や関係者からの意見・提言を踏まえ、まずはリニューアルが必要と考えたものである。ヒートポンプ等については、色々な方策があると思うが、現時点では、やれる部分から改修し、経営改善していきたいと考えている。



道の駅あねっこ：リニューアルで集客を

問

アドバイザーから、このリニューアルにより年間どの程度の収支の改善が見込まれるか示されたのか。

答

集客や収入が、いくら上がるということは出していない。ここが悪い、ここを改善すべきだというような具体的な指導をいただいている段階である。

6 月定例会のあらまし

問

現時点の改修・改善計画の修正をどの程度考えているのか。

答

ハード面では、今予算要求しているものがベースになる。ソフト面では、物流システムの変更、産直組合との関係の見直し、産直に出荷されたものを使ったメニューの開発などについてさらに詰めていく。

どうなりました 請願・陳情

○請願第 2 号 義務教育費国庫負担制度 2 分の 1 復元を図るための、2015 年度政府予算に係る意見書採択についての請願（採択）

提出者＝岩手県教職員組合岩手支部

支部長 栗田 裕年

将来を担い、社会の基盤づくりにつながる子どもたちへの教育は極めて重要であり、子どもや若者の学びを支援し、雇用、就業の拡大へとつなげる必要があるということで、採択とした。

なお、これに関する意見書を町議会で発議し、関係省等に提出しました。

○請願第 3 号 少人数学級の推進などの定数改善を図るための、2015 年度政府予算に係る意見書採択についての請願（採択）

提出者＝岩手県教職員組合岩手支部

支部長 栗田 裕年

社会状況等の変化により、学校の一人ひとりの子どもに対するきめ細かな対応が求められ、また多様化する問題を解決するためには、計画的な定数改善が必要であるということから、採択とした。

なお、これに関する意見書を町議会で発議し、関係省等に提出しました。

○陳情第 2 号 晴山行政区の生活関連施設等の整備に関する陳情書（一部採択）

提出者＝晴山行政区長 川村 孝男 他 13 名

晴山行政区の生活関連施設等の整備は、地域住民の安全な生活のため必要であるが、地権者の同意書の提出や設置箇所について検討を要するため、一部採択とした。



晴山行政区の陳情箇所を調査

○陳情第 3 号 免税軽油制度の継続を求める陳情書（採択）

提出者＝(株)プリンスホテル 雫石スキー場

代表者 芝田 昭博

(一財)休暇村協会 休暇村岩手網張温泉

代表者 中川 良一

(株)鈴木商会 岩手高原スノーパーク

代表者 山本 善和

これまで、スキー場産業の発展に貢献してきた免税軽油制度が、平成 27 年 3 月末で廃止される状況にある。この制度が廃止となった場合、当町の冬季観光の柱であるスキー場産業が大きな負担を強いられることになることから、採択とした。

なお、これに関する意見書を町議会で発議し、関係省等に提出しました。

人 事



○雫石町固定資産評価審査委員会委員の選任に関し同意を求めることについて

雫石町固定資産評価審査委員 3 名のうち 1 名の任期満了に伴い、新たに委員を選任することに同意した。

氏 名 ささき しげみつ 佐々木 繁光

(61 歳 七ツ森・丸谷地行政区)

任 期 平成 26 年 7 月 5 日～

平成 29 年 7 月 4 日

平成 26 年第 3 回雫石町議会 6 月定例会 議決結果等一覧 会期：6月6日(金)～6月13日(金)

議案等 番号	議員名 件名	田 屋 館 愛 子	幅 秀 哉	岩 持 清 美	山 崎 留 美 子	加 藤 眞 純	杉 澤 敏 明	川 口 一 男	前 田 隆 雄	西 田 征 洋	谷 地 善 和	村 田 厚 生	田 中 栄 一	大 村 昭 東	上 野 三 四 二	坂 下 栄 一	坊 屋 鋪 俊 一	平 子 忠 雄	石 亀 貢	採 決 結 果
承 認 第 1 号	雫石町税条例等の一部を改正する条例 の専決処分に 関し承認を 求めること について	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	承認
承 認 第 2 号	平成 25 年度雫石町一般会計補正予算 (第 17 号) の専決処分に 関し承認を 求めること について	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	承認
承 認 第 3 号	平成 25 年度雫石町下水道事業特別会計 補正予算 (第 7 号) の専決処分に 関し承認を 求めること について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	承認
議 案 第 1 号	雫石町立雫石診療所条例の一部改正に ついて	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議 案 第 2 号	雫石町簡易水道施設設置条例の一部改 正について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議 案 第 3 号	雫石町東日本大震災復興基金条例の廃 止について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議 案 第 4 号	雫石町難病患者等ホームヘルパー派遣 手数料条例の廃止について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議 案 第 5 号	平成 26 年度雫石町一般会計補正予算 (第 1 号)	○	●	○	●	●	○	○	○	●	○	○	○	●	○	●	○	○	○	可決
議 案 第 6 号	平成 26 年度雫石町介護保険事業勘定特 別会計補正予算 (第 1 号)	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議 案 第 7 号	道路災害復旧 (25 災 498 号・499 号) 工事の請負契約の変更に 関し議決を 求めること について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議 案 第 8 号	河川災害復旧 (25 災 491 号・492 号) 工事の請負契約の変更に 関し議決を 求めること について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議 案 第 9 号	平成 26 年度雫石町一般会計補正予算 (第 2 号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議 案 第 10 号	平成 26 年度雫石町御明神財産区特別会 計補正予算 (第 1 号)	○	○	○	○	●	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議 案 第 11 号	林道施設災害復旧事業 大地沢線 1 号箇 所復旧工事外 2 工事の請負契約の変更に 関し議決を 求めること について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議 案 第 12 号	財産の取得に関し議決を 求めること について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議 案 第 13 号	財産の取得に関し議決を 求めること について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
同 意 第 1 号	雫石町固定資産評価審査委員会委員の 選任に関し同意を 求めること について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
発 議 第 1 号	義務教育費国庫負担制度 2 分の 1 復元 をはかるための、2015 年度政府予算に 係る意見書の提出について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
発 議 第 2 号	少人数学級の推進などの定数改善をは かるための、2015 年度政府予算に係る 意見書の提出について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
発 議 第 3 号	免税軽油制度の継続を 求める意見書の 提出について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決

○…賛成、●…反対 欠…欠席 ※議長は採決には加わりません。

6月定例会

一般質問 町政を問う 8議員が質問

一般質問は、議員が広く町政に関し報告や説明を求めたり、疑問をただしたりするものです。定例会ごとに実施されており、質問順は抽選で決定しています。

質問者	質問内容	掲載頁
 にしだまさひろ 西田征洋議員	介護保険制度は利用者負担増になるのか	7
 いわもちきよみ 岩持清美議員	ご当地ものしり検定を実施しては	8
 はば ひでや 幅 秀哉議員	地域包括ケアシステムの組織と機能、問題点は	9
 おおむらしょうとう 大村昭 東議員	人口減少時代のまちづくりは	10
 かわぐちかず お 川口一男議員	深谷町政の2期目はあるのか	11
 すぎさわとしあき 杉澤敏明議員	新エネルギービジョンによる推進施策は	12
 やまざき る み こ 山崎留美子議員	産廃処分場はダメと声を上げて	13
 うわ の み よ じ 上野三四二議員	深谷町政2期目に挑む意欲は	14

介護保険制度は 利用者負担増になるのか

町長／第6期介護保険事業で
具体的に



物価は上がり
収入は減る。
これがアベノミクス
の成果？
何か変でない？

問 4月からの消費税8%で増税感がずっしり来ている。政府の統計でも4月以降、勤労者、農家、中小業者、年金生活者は収入減に消費者物価上昇が追い打ちをかける形で大変な負担増になっている。その中での介護保険制度の改訂で、①要支援の訪問、通所サービスを町の地域支援事業に移す。②特養老人ホーム入所を要介護3以上に限定する。③利用料の2割負担を新たに設け、低収入の施設入所者への補足給付の縮小等、主だったものでも、在宅、施設入所でも負担増が目白押し。町の対応は。

町長 新たな地域包括ケアシステムの構築等、町独自の設定をしなければならない部分もあり、どのくらいのサービス内容になるか保険税も含めて負担の公平を考えながらこれから具体化することになる。

意見 国会審議で政府は利用料の2割負担の論拠を撤回した。2割負担しなければならないという理屈はウソだったが法案だけは数を頼んでゴリ押しをする。財政を口実に負担増を押しつけるのは間違いだ。

認知症 早期の対策こそ重要

問 認知症の度合いに自立度というモノサシがある。認知症の進行度と介護度の判定とは、必ずしも一致しないが、比較的症状が軽い自立度1の層がほとんど要支援1・2に入るが、これが対象外になる。どう対処するのか。

福祉課長 認知症に関しては重症とならないよう、初期のケアが必要ということは認識しており、具体的な対応を検討していきたい。

意見 介護保険の改悪で初期対応が適切にできないと認知症状は2倍、3倍のスピードで進むことは、私達も見たり聞いたりしている。政府は自立を支援するという口実で要支援、要介護から切り離れたがやることは全く逆で重症化が促進させられる。町の長期、短期の独自の対応がぜひとも必要だ。



町独自のケアシステムをどうするのか

■他にこんな質問もしました
・町道除雪問題

ご当地もののしり検定を実施しては

町長／観光ガイド養成講座の中で進めている



本町の観光客入込数は、最盛期の62・5%に落ち込んでいる。何とかしなければ！

問 ご当地検定は、その地域資源に対し、興味を持ってもらう事を主眼としている。本町には、出題となる資源は近隣のどの市町村にもひけをとらない位、数多くある。検定を行う事で、観光に対する意識と意欲の向上が期待できると思うが、いかがか。

町長 観光客を受け入れる地域が、自分達の持つ観光資源を活かして企画する着地型旅行商品開発事業の中で、観光ガイド養成講座を実施しており、卒業検定がご当地検定となるよう取り組みを進めている。

問 ガイド養成講座でやっているからやらないでは、一般町民が参加する機会がないし、町を訪れて検定を受ける事はできないのでは。

観光商工課長 現在実施している観光ガイド養成講座を一般の方も参加しやすいよう、今ある講座を拡大する型で進めていきたい。

雫石フォトコンテストを行っては

問 雫石の魅力の発見と発表する機会を設ける事により雫石の良さの宣伝にもなると思われる。雫石フォトコンテストを行う考えはないか。

町長 平成 17 年度に町制施行 50 周年を記念し「雫石町観光写真コンクール」を開催し、その後は5年に一度開催することとしており、平成 22 年度では、54 名、157 点の応募をいただいた。入賞作品は町内 4 ヲ所で展示会を実施した他、観光パンフレットや広報の写真素材として活用を図っている。今回は、平成 27 年度の実施を予定している。

玄武洞の景観の確保は

問 玄武洞の防災網は、平成 11 年の崩落により、県が設置したものと思っている。あれから 14 年も経過しており、地盤調査を行なうと共に、駐車場から直視出来る高さまで、防災網の高さを低くするよう県に要望してはどうか。

町長 玄武洞は、雫石十景にも選ばれている。平成 11 年 9 月 3 日の崩落事故により、葛根田川の閉塞が発生した事に加え、崩落した玄武洞の背面に残る岩壁が再度崩落する可能性があることから、県の工事で行ったものである。盛岡広域振興局に問い合わせたところ、「防護柵は再度崩落した場合の飛び石の高さなどを計算して設計している」との事で、低減化は難しい。景観向上対策として、どのような方法があるか県にも相談しながら検討する。

■他にこんな質問もしました

- ・ふるさとガイド養成について
- ・周遊コース策定とレンタサイクルについて

問 地域包括ケアシステムの組織機能の構築状況と運用における課題はないか。

町長 課題点は地域包括ケアシステム策定調査により明確になった。医療関係、生活支援、包括の拠点づくり、人材育成、互助による地域力の向上などであるが、この地域課題のうち、今年度は地域医療の充実と認知症対策を重点的に行う。組織機能としては、現在常勤医3名体制で外来診療、在宅医療にサービス提供が出来ている。診療所内会議や健康センター経営者会議を経て土曜診療も開始する。西山と御明神の旧診療所を活用し、出張診療所の開設も準備している。

道路付帯設備破損状況の把握は

問 町道の付帯設備の破損が多くみられるが、状況を把握し、費用も含めた修繕計画はされているか。

町長 除雪作業による破損についてはオペレーターが確認したものは、オペレーターが町に破損報告をし、町が現地確認をする。支障が生じるおそれがあるものは、即修繕をNPOに指示する。それ以外は雪解け後NPOが修繕する。町民からの通報やパトロールで発見された場合、除雪に伴うと判断したものはNPOが修繕し、経年劣化や除雪以外と判断したものは町が修繕する。修繕計画と費用は、パトロールや町民からの情報提供をもとに、過去数年間の実績に基づき費用算出し修繕を行っている。

小学校適正配置の説明会2巡を終えて必要な説明はされたか

問 小学校適正配置の説明会2巡を終えて、1. 理解度は高まったか、2. 適正配置の重要性・必然性の説明はされたか、3. 跡地利用の説明はされたか。

教育長 1. 適正配置基本計画により懇談会を開催した前回の質問意見をもとに、一歩踏み込んだ会となったが、合意には至っていない。2. 検討委員会の学習指導面、生活面、学校運営面の具体的方策と提言を踏まえ説明したが、十分に伝わっていない。アンケート、インタビューを通じ、庁内関係課による調整会議を組

地域包括ケアシステムの
組織と機能、課題点は
町長／土曜診療を開始し
旧診療所活用を進める



包括支援も
跡地利用も
実は関連あるんだ
よな。

織し合意形成を進める。3. 体育施設、合宿施設、集会施設、福祉医療施設などを示し、地域のシンボルとしての価値を残すよう進めていく。



どうなる？ 適正配置

■他にこんな質問もしました

- ・包括ケアシステムの利用者の確保は
- ・スノーポール等台帳管理しているか

人口減少時代のまちづくりは

町長／定住対策、企業誘致に取り組む



尋ねていることを
しっかりと確認し、
答えてください。

問 人口激減によって、本町の消滅は食い止められないという危機感をもって、深谷町政をどのように総括検証し、まちづくりに取り組んでいるか。

町長 定住対策を進めるとともに、企業誘致や働く人の定着を図って、雫石町に住み続けたいと思えるまちづくりに取り組む。



定住が期待される星の駅団地

急変する農業政策への対策は

問 深谷農政をどのように総括検証し、家族農業経営の充実、農家所得の向上、農村社会の発展に取り組んでいるか。

町長 農業・農村の多面的機能を発揮し、強い農林業を作り上げるよう取り組む。

問 4年間の深谷町政、深谷農政の総括検証は。

町長 大変スピードの速い3年半と認識しており、様々な施策など状況的には、他町村に比べ評価していいものと感じている。

問 深谷町政の骨格である地域経営を民間発想に変えるために何を実行したか。

町長 経営の根幹は財政であり、財政調整基金を積み立てたことにより、経営の安定化に3年半大変貢献していると思っている。

問 マニフェストの事業仕分けを実行しないことを、どう総括検証したか。

町長 総合計画に盛り込んでおり、実行していないということは当たらないと思う。

問 観光交流人口拡大のために、弱者の方々も散策できるような、上野沢林道→丸森山→千沼ヶ原への登山コースの開発など、新たな観光資源の調査研究をやっているか。

観光商工課長 そのコースについて、どんな対応が可能か検討したい。

問 人口激減自治体消滅の危機脱出には、職員の能力開発が最重要課題である。平成24年6月議会で、職場改善に取り組むと答弁あったが、それなのになぜパワハラ、いじめ、不始末みたいなことが起きるのか。

町長 そのような事実は把握していない。

深谷町政の 2期目はあるのか

町長／引き続き町政を担い、
誠心誠意努力したい



子どもが歩きたびに
ひやひやして、
心臓に良くない。
早い復旧を。

問 深谷町政も3年7ヵ月になり、私を感じるところ、初心を大きく持ち、たくさんの構想をかかげ、深谷丸が出航したが、目標達成とは思えない。2期目に達成との思いで、そろそろ決意表明をしてはと思うが伺いたい。

町長 町長選挙について、平成22年11月に就任して以来間もなく4年の任期を迎える。この4年を振り返ると、長引く日本経済の低迷に加え、平成23年3月11日に発生した東日本大震災を要因とする観光の風評被害、放射性物質の影響による農畜産経営の圧迫、そして昨年8月9日に当町を襲った大雨洪水災害など、さまざまな多くの課題と向き合った4年間であったと考えている。このような厳しい状況だったが、私の町長就任時に町民の皆様へ宣言、約束した政策、施策は、第二次雫石町総合計画前期基本計画及び個別の分野計画に分類、整理し、反映させている。その中でも特に、重要な施策については、毎年度の重点事業として掲げ、その施策の推進に全力を挙げて努めてきた。「みんなが主役、誇らしく心豊かなまちづくり」をさらに推進するため、引き続き町政を担い、誠心誠意努力したい。

改良復旧工事をしていくべきだ

問 去年、片子沢地区が大雨で水害になったのは、県道盛岡横手線を横断している水路の管が小さかったからだ。災害復旧工事は、その被災した箇所を復旧して終わるが、勉強になったのだから、国、県と折衝して、改良復旧工事の運動をしていくべきではないか。

副町長 県道を横断している水路の大きさ、御明神地域の国道、踏切の関係についても、多くの課題が出ていると思う。町としてできる部分については対応していきたい。関係する国、県の部分については、要望をしていきたい。時間はかかると思うがご理解願いたい。

問 昨年8月9日の大雨災害の復旧について、県道盛岡横手線、安庭地区の復旧工事は手つかずの状態であるが、県に対し、どのような対策を要望しているか伺いたい。

復興整備課長 早速現地を確認し、盛岡広域振興局の土木部に伝えて、早急に対応していただくよう強力に要請する。



工事が手付かずの通学路

新エネルギービジョンによる推進施策は

町長／公共施設へ率先導入する



投資、税収、雇用
など町への貢献が
大きい太陽光発電
を町有地にも設置
してもらいたい
だ。

問 町は、本年3月に「雫石町新エネルギービジョン」を策定している。町内の恵まれた新エネルギー資源の有効活用を図るなど、再生可能エネルギー導入促進のための基本方針を示したものであるとしているが、このビジョンで取り組む主なものは何か。

町長 新エネルギーの導入を継続して進めることに加え、省エネルギー対策と災害時にも強いエネルギー対策を進めるとともに、事業者、町民の取り組みを示すほか、新エネルギーに係る啓発や教育を進める。重点事項として取り組む主なものとしては、まず町として公共施設へ新エネルギーを率先導入する。地熱利用構想としては、網張温泉源泉の余剰蒸気の有効活用を進める。木質バイオマス利用構想としては、町内の豊富な林産材の活用のために木質バイオマスの流通システムの構築について研究していく。今後さらなる住宅用新エネルギーの普及を促進するための町補助金の充実や、環境学習の充実などに努める。

網張温泉源泉井の掘削と地熱開発調査との関係は

問 網張元湯の源泉確保のための代替井の掘削をする予定であると聞くが、この掘削と当初の地熱開発調査計画との関係はどうなっているのか。

町長 網張地区地熱開発調査の今年度の予定は、こうぞうしすいせい構造試験井を掘削することとしており、網張元湯から約500メートル離れた地点で行う。網張温泉の源泉井戸は蒸気漏れ等の不具合が発生し、危険な状態である。緊急的に対処するため、近くに新たな井戸を掘削しようとするものであり、調査事業とは直接関係がない。

大規模太陽光発電による町有地の活用を

問 町有地（落葉果樹研修所跡地）隣接地に大規模太陽光発電事業計画があるが、町有地にも設置してもらいようにした方がよいと考えるが、どうか。

町長 現在「町有地活用懇談会」を設置し、保健、医療、福祉を中心として検討を進めることとしているが、太陽光発電施設の設置や活用についてもあわせて検討を進めていく。

町有地（落葉果樹研修所跡地）隣接地の太陽光発電事業計画の概要

発電規模	約25,000キロワット (一般家庭約7,000世帯分相当)
事業費	76億7,000万円
実施主体	雫石太陽光発電合同会社 (エトリオンコーポレーションと 株日立ハイテクノロジーズが 出資設立)

こうぞうしすいせい
※構造試験井…地下の地質構造及び温度の調査を目的として掘削する井戸。終了後埋抗するもの。

産廃処分場は ダメと声を上げて

町長／候補地名の公表後に 対応したい



緑が美しい季節。
アオバトの鳴き声
は宇宙の使者みた
いで美しい。
都会では絶対聞け
ないんだから！

問 公共関与型最終処分場候補地の一つに当町が上がっており、今年度中に1カ所に決定される。町内13カ所に未だ撤去されていない※「2,4,5-t 除草剤」3,940 kgがあり、この問題を棚上げしたままでは環境不安への先送りが否めない。町として先んじて受け入れ拒否を発信する考えはないか。

町長 町内には活断層があることや、全農東日本原種豚場建設の際、盛岡市の上水道水源の上流であるため各種団体の反対運動が強かったことなどの情報を提供し、選定委員会の職員には候補地としてはふさわしくないと意見を述べた。選定委員会の今後を見守りたい。

問 仮に候補地として決定した時になって町は拒否できるのか。

町長 県が一方的に候補地を選定して説明に来た。雫石町に来るということは想定していない。

太陽光パネル発電量「見える化」に

問 役場屋上に設置した太陽光発電量が分かるようパネルを設置し、町民や子どもたちの環境啓発と学習に役立てたらどうか。

町長 データ自体は制御システムから容易に取得できることが分かったので、改めて内部協議を行い前向きに検討していく。

自然環境創造プロジェクトは

問 昨春秋に製作した小屋等は好評だったが、今後どう活用していくのか。

町長 まだ取り壊していないが、基礎工事など行っていない仮設であるため、安全面などで今後活用することはできないと考えている。

問 みんなで共同作業し、例えばプランターボックスやテーブル、ベンチなど形を変えて展開していくことは可能か。

企画財政課長 今の木材を活用して別な形にするのは可能だと考える。



景色抜群。共同製作した小屋

■他にこんな質問もしました

- ・人口減少に歯止めをかける方策について

※2,4,5-t 除草剤…現在認可されていない広葉用除草剤の一つ

深谷町政 2 期目に挑む意欲は

町長／引き続き町政を担い努力していきたい



憧れの高校野球、
サッカーなど無料
でもいいじゃない
か。

問 この秋に深谷町政が評価される。災害続きで選挙公約マニフェストなどに掲げた町民との約束も思うように進められなかったかも知れないが、全般を自己評価としてどう総括しているか。また、2 期目の挑戦の意欲と考えはどうか。

町長 東日本大震災や昨年当町を襲った大洪水災害で厳しい状況にあったが、私が町長就任時に町民に宣言、約束した政策、施策は第2次町総合計画前期基本計画及び個別の分野別計画に反映させ、着実に進めることができています。さらに、攻めの強い農林業、観光誘客戦略、防災体制強化など6つの重点事業を進めて行く。私の信条である「みんなが主役 誇らしく心豊かなまちづくり」を更に推進するため、引き続き町政を担い誠心誠意努力していきたいと考えています。

スポーツ振興・体育協会など組織強化策は

問 スポーツ振興には、行政姿勢と町体育協会など機能化や運営健全化が不可欠である。町体育協会は組織再編や役員交代などに翻弄し、本来のスポーツ振興や指定管理も十分と言えるか疑問を感じている。町の指導はどうなっているか。また、県営プールの指定管理の見通しはどうか。野球場、グラウンドなど高校野球のような教育関連活動や観光誘客に連動するような利活用は使用料特別免除を考えてもよいと思うがどうか。

教育委員長 昨年から町体育協会の会長、事務局長が相次いで入院し組織体制に不安もあった。新体制で法人移行まで運営することになった。今年7月の県公益認定審査を経て、一般財団法人として再スタートする準備をしている。県営プールの指定管理の再挑戦は、公募が開始される7月をめどに情報収集や計画書の作成に着手している。体育施設の減免については、入場料を徴収する事業は対象外としているが、町長が必要と認めた場合は免除可能であり検討したい。

町民の声を町政にどう反映しているのか

問 町政懇談会、広報直通便など町民の声をどのようにして町政に反映しているか。

町長 町民と共有すべきと判断した場合には、発言者の了解を得たうえで広報に掲載することとしている。町民と情報共有は、町民主体の町づくりの実現の基本であり、意見、提言、要望等は対処経過の記録を整理し、町政に反映させるとともに、情報の共有に努める。

7月2日から4日まで、閉会中の継続調査に関わる項目について、視察研修調査を行いました。

- (1) 防災・減災対策の取組について、自主防災組織活動について（静岡県、富士市）
- (2) 定住対策について（静岡県、長泉町）
- (3) 議員定数16人体制について（静岡県、伊豆市）

総務常任委員会（前田隆雄委員長）は以下の先進地視察を行いました。

■静岡県富士市

◎防災・減災対策の取組について

防災庁舎（地上7階地下1階）にて防災・減災について説明を受けました。

○災害時の組織体制

- ・免震構造の防災庁舎に災害対策本部・作戦司令室を設け、消防本部情報司令課も同室に設置し、防災と消防の連携の強化を図る。
- ・職員を32班に分け対応に当たる。26のまちづくりセンターを地域拠点とし地域担当部を配置する。

○情報伝達機器の整備

- ・防災無線は屋外支局402局、戸別受信機858台、デジタルMCA無線229台を配備。
- ・無線受信機付ラジオ（防災ラジオ）を1,000円/台にて45,000台配布済み。
- ・Jアラート（全国瞬時警報システム）を平成19年に整備完了。（整備費4,473,000円）
- ・緊急地震速報受信装置をケーブルテレビのラインを利用し、各学校、幼稚園・保育園等160施設に設置。

○各災害への対策

- ・津波対策・風水害対策・富士山火山防災対策に基づき、職員動員訓練や防災訓練を年3回程度実施。



富士市災害対策本部室で市長など幹部（左側）の歓迎のあいさつを受ける

◎自主防災組織活動について

- ・自主防災組織結成率99.7%
388組織
- ・補助金 世帯数×150円+15,000円
- ・機材購入費補助金 5万円以上30万円までのうち2分の1補助
- ・研修会・地区防災会議・地域防災指導員制度、防災講座、自主防災組織運営の防災訓練等を実施。

■静岡県長泉町

◎定住対策について

人口自然増・若者定住の実態の説明を受けました。

○町の素顔

面積：26.51 km²
人口：42,149人（平成26.4.1）
高齢化率：20.0%（平成26.1.1）

○人口の推移

昭和35年合併後	15,000人
昭和60年	32,000人
平成15年	38,000人
平成25年	42,000人

一度も減少せず増加

○人口増加の背景（要因）

- ・交通の利便性 東京まで1時間
- ・恵まれた自然環境
 1. 温暖な気候
 2. 富士山の眺望
 3. 豊富な地下水
 4. 急傾斜地が無い
- ・労働環境の優位
 1. 戦前からの企業立地
 2. 昭和30年代に大手企業進出
 3. 昭和50年代工業団地造成、企業立地
 4. 近隣市町にも工業団地
- ・良好な住環境
 1. 町内医療機関体制の充実
 2. 総合病院2を含む42の病院
 3. 県立静岡がんセンターの誘致・開院
- ・行政の取り組み 重点施策4K
 1. 子育て支援
 2. 健康づくり
 3. 高齢者支援
 4. 環境対策

○奇跡の自治体

- ・自然人口増
- ・地価公示価格の上昇

■静岡県伊豆市

◎議員定数16人体制について

4市町村合併により数年にわたり定数削減を続け、現在16名になった経緯・現在の状況の説明を受けました。

○町の素顔

面積：363.97 km²
人口：33,311人（平成26.4.1）
高齢化率：34.34%（平成26.1.1）

○合併

平成16年に修善寺、土肥、天城湯ヶ島、中伊豆の4町村が合併し伊豆市となる。

○議会のあらまし

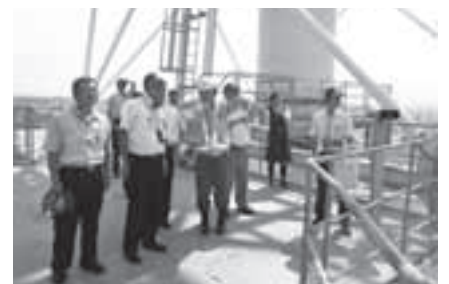
定数 16名
常任委員会
第一委員会 8名
第二委員会 8名

○会派

2会派 13名 会派無 2名

○課題

各地区からの選出が難しくなっている。住民の声が届かない地区もでる。若年代の議員が出てこない。委員会等の対応や住民の意見の吸い上げは、現在の定数で限界である。



製紙工場屋上から富士山を眺望する議員たち

7月9日から11日まで、閉会中の継続調査に関わる項目について視察研修調査を行いました。

- (1) 再生可能エネルギーについて
(岐阜県恵那市)
- (2) 6次産業について
(岐阜県中津川市)
- (3) 有機循環推進事業について
(愛知県豊明市)

●子どもたちも参加「らせん式ピコ水力発電」

5つのダムを抱える恵那市は、再生可能エネルギー利用が総合計画に位置づけとしてあり、恵那市環境フェアの実施や緊急時のエネルギー補給の実現など調査していました。

農業用水U字溝に設置するだけで、水の流れを利用し3wから10w発電できる「らせん式ピコ水力発電」を民間事業所が開発したことに着目した市が、平成22年の秋、公募した用水路に取り付けることができたそうです。



3 cm の水位で発電できる
「らせん式ピコ水力発電装置」

特徴として、発電装置の羽根の部分は小学校の子どもたちが集めたペットボトルのキャップでできていること、製品も組み立てられることから、実際にエネルギーの成り立ちまで学べることなど環境教育の一環となっているそうです。本体は直径約30 cm 高さ38 cm 長さ約1 m (重さ19 kg)。発電は街灯や防犯灯に生かされていますが、獣害防止用の電柵にも使用できるとのことでした。

設置に至って水利権のハードルもあったそうですが、平成23年に小水力発電の申請手続きが緩和され届出制になったことでスムーズに事業が

進んだようです。水路の水の高さがわずか3 cm あるだけで発電できるということでしたが、大雨が予測される時は流されないよう引き上げる作業や羽根に付着した枝葉の除去などは、用水路管理組合が行っています。

●地産地消は6次産業で

中津川市にある2006年オープンし『ちこり村』『㈱サラダコスモ』を訪ねました。名前の由来はベルギーで最も食されている野菜のチコリです。現在生産量は日本一、出荷量は1日4,500本で、植え付けから生産、加工、販売までの展開を伺いました。



職員から野菜の「ちこり」について説明を受ける

生産ファームでは成長させるための「寝かし」から、根の部分である芋を活用し焼酎を仕込むラインとさまざまな加工品販売やレストランまで、幅広い6次産業の姿がありました。

元々はもやし生産が主の会社でしたが、今後の食糧危機への対策や地産地消を推進するには地場でやる必要があると考えこの事業に取り組みました。農家の主婦たちが、季節折々の野菜を中心にさまざまな料理が楽しめたらと立ち上げた「㈱菜っちゃん」も加わり『バーバースダイニング』を運営しています。当初は座席数80席でしたが現在は130席と増え、ランチタイムはフル回転だそうです。

問題は特にないが、地場産オンラインの自販機があればいいのではと、岐阜県に提案しているそうです。

他に大府市にあるJA あぐりタウンも視察しましたが、取り組む人たちの真剣な姿勢と意気込みが感じられました。

●消費型社会から循環型社会へ

平成10年度にゴミの減量を目的とした市民有志による実証実験がきっかけとなり、年間11,300 t排出される「燃えるゴミ」のうち、36%を占める「生ゴミ」の堆肥化事業に向け「有機循環都市とよあけ」がスタートしました。

11年度は830世帯から分別収集を開始、平成17年度に市の単独事業とした「^{くつかけ}沓掛堆肥センター」を建設(総事業費約1億3,000万円)、その後地区を拡大し平成22年度は約8,000世帯までになりました。

社会福祉法人「豊明福祉会」が4,400世帯を受託し、残りを市が直営していますが、堆肥センター(床面積約1,000 m² 処理能力3.0 t/日)では、1日6～7人の体制で障がい者の雇用にもつながっています。堆肥生産量は119,790 kg (25年度)、「とよあけEco堆肥」の価格は20 l 袋詰め600円、農家対象は2,050円/m³、毎年完売になるということです。

課題も幾つかあり、生ゴミの中に金属物や、分解しない袋などの混入の対応が大変で分別意識の徹底と市民の協力が不可欠ということでした。



生ごみを堆肥にかえて再利用

コロナスアッパ

改選後の新議員をシリーズで紹介します。議席番号9、10、11、12番の4名が議員としての抱負などを語ります。



昨年の常任委員会の視察にて
(右から2番目が西田議員)

「心がけていること」

西田 征洋 議員(69歳 晴山行政区)

町民にとって、より暮らしやすい日常生活が送れるように、ということで、あらゆることが(議員活動の)対象になるのではと思っています。

「憲法をくらしに生かす」をモットーに住民を守るお手伝いを皆さんと共にやっていきたい。



静岡県長泉町で先進地調査する谷地議員

「若者にお知らせしたい」

谷地 善和 議員(61歳 谷地行政区)

雫石町は、妊婦健診無料、保育所の待機児童なし、病児病後児保育あり、放課後児童クラブあり、中学校卒業まで医療費無料、定住促進住宅あり、空き家バンク制度ありで、若者にとって子育てしやすい町だと思います。



ダム堤防内監査廊にて(中央が村田議員)

「門下生」

村田 厚生 議員(67歳 大村行政区)

元気で活力ある社会づくりは、いつの時代にも求められます。その一翼を担いたく、みなさんの門下生として、我が町の明日、将来がどうあるべきかを「思い」「意見を伺い」「考え」「行動」します。

過日、昨年8月9日の大雨大洪水災害を思い浮かべ、その際の御所ダム管理状況について研修を受けました。元気な町づくりに向けて時には振り返り、立ち止まり、そして進む。これも大切なことです。



枇杷監査委員(左)と共に

「監査委員としての日々」

田中 栄一 議員(68歳 極楽野行政区)

雫石町議会に議席をいただき、あっという間に11年がたちました。総務・産業建設・教育民生各委員会を経験し、現在、監査委員を仰せつっております。監査の業務は、法令等にのっとり事務(財務・行政)の執行が適正に行われているか監査するものです、常に公正不偏的に行う使命をおびていますので全国・県等の研修会にも参加し日々研鑽を積み重ねています。



議会へのひとこと ——皆さんの声を聞きました



く どう まさよし
工藤 政善さん
(32歳・天戸行政区)



ち ば ま ゆ
千葉 麻由さん
(32歳・橋場行政区)



さ か い な お き
坂井 尚樹さん
(42歳・五区行政区)

“しずくいし”の 未来へ向けて

先日、我が子の運動会へ参加してきました。天候もよく、子供たちは練習の成果を十分に発揮することができ、また、地域の方々との交流もあり、大変盛り上がった運動会でした。

振り返ると、私が小学生の時（20年ほど前になりますが）は、全校生徒の人数は120名ほどでしたが、現在は50名ほど少なくなり、70名ほどとなりました。年々子供たちの数が少なくなっています。全国的にも少子高齢化が進み、今後この数字がますます進んでいくことに不安を抱きます。

議会だよりを見ていますと、町の自主財源も減りつつあり、どのように財源を使用していくかが今後の難しい課題となっていくのではと思います。改善していくためには、町の人口増や地域活性化、企業誘致等考えられますが、それに向け何をするかは、地域一体となり、話し合っていくことが必要であると考えます。ぜひ、議会だよりでもしずくいしの未来について、各世代の方々からの意見を募っていただき、町の取り組みへ反映して頂きたいです。

未熟な意見だと思いますが、後世へ雫石町を託すための切な願いですので、どうぞよろしくお願い致します。

町政に期待すること

私が町政に期待すること、それは仕事・子育て・介護に直面した時、どれも諦めずに出来る町づくりです。私は、難病だった母、末期癌の父を見送りました。どの時も、子育て・仕事をしながらでしたので、満足以看病出来なかったですが、一人娘として精一杯の事はしたつもりです。

祖母もおりますので、ケアマネジャーさんにお世話になり、デイサービスにお世話になり、日々生活しております。

私の不勉強で子育ての面では、保育所の利用など希望のタイミングで入れなかったことで、本当に困った時に頼れないと感じた事がありました。とはいえ、宮城から迎えたお婿さんの夫とともに、学校のこと、農作業のこと、野球を通じて、雫石で楽しい生活が出来たらいいと思います。

学校の統合については、新聞の声の欄で我が子の想いを知り、親として子供のために、きちんと未来を考えていかなければいけないと思います。

また、来年には、雫石を主会場として、雫石小学校にある「ことばの教室」のサマーキャンプを行う事になりました。私共が主体で動いて、県下の教室に通う子と親が集まります。そちらにも、議会の皆様をはじめ、ご協力を頂きますようお願い申し上げます。

町民の皆様に雫石牛を

今年度より、雫石牛肥育部会の部会長をすることとなりました。行政・議会に対しましては、日頃より多大なる御協力、御理解を頂いていることに感謝し、この場をお借りして感謝申し上げます。

しかしながら、長引く不況が要因の枝肉相場の下落、東日本大震災による原発等の風評被害、全国的な繁殖農家の減少による素牛の不足、エサの高騰等による素畜費の増加等々、様々な影響により我々肥育部会員の経営は、大変厳しい状況にあります。今後とも、雫石牛肥育部会は行政・議会の更なる御理解、御協力を得ながら頑張っていきたいと思っています。

その一方で、明るい話題、兆しもあります。国道46号線の焼肉店で、雫石牛を食してもらうイベントを、行政とのコラボで進行中です。「地産地消」、何より町民の皆様は雫石牛の味を堪能していただけることをうれしく思います。

2016年の希望郷いわて国体・希望郷いわて大会、2020年の東京オリンピックにも大いに期待しております。

雫石町からも、岩手はもとより全国に元気を発信していけるような町づくりをしていってほしいと思います。



「雫石魂」で耐えた五十年：故郷に感謝

私が中学卒業と同時に集団就職で上京したのが14歳の春でした。何も知らずにふるさとを離れた私が、50年後の現在に至ったのは、苦しさに負けないで頑張れた、雫石育ちの精神力だったと、育ててくれた親兄弟は勿論、雫石の大自然に感謝したい。

小学校時代、私たちは戦争の影響で男9名女9名の小人数の学年だったので、6年間小さな教室で過ごしたが、最後は新校舎が完成して、明るい教室から卒業できてとても嬉しかった記憶がある。子どもの頃はとにかくわんぱくで、厳格な父親に厳しく叱られた思い出がある。集団就職で上京したあとは、母親が心配で涙をながしていたと後に聞かされ、両親の思いに感謝の念でいっぱいです。葛根田川での川遊びもしたが、小岩井農場での畑の草取りのアルバイトが最も印象深い。広い農地を午前中かけて進み、そこでお昼を食べて帰ってくるという作業だった。就職してからはいろいろな仕事の経験をしたが、明電舎では大型変圧器の巻線を担当、手作業での線の接続が緻密で手がまめだらけとなり、20歳前の若者にとってきつい作業であった。20歳になり陸上自衛隊に入隊。機甲科で戦車や銃付のジープを乗り回した。当時の戦車はアメリカ製のガソリン車でノークラッチであっ

た。現代とちがいで国道も走っていたが、滑走路でのパレードのときがやはり晴れがましい時でした。日通警備時代は銀行の現金輸送を担当したが、襲撃事件もあった時代で、毎日が緊張の連続であった。無事に定年を迎えてほっとしている。

26歳の春に友人の紹介で、八戸出身看護師の喜美子と結婚、長女・次女に恵まれた。結婚式は盛岡の桜山神社で行ったが桜が満開で特別に綺麗だった。海外旅行もいろいろ経験したが、次女がハワイで結婚式を挙げたときの家族でのハワイ旅行が印象深い。ドライブが趣味で車で帰省することが多いが、七ツ森を過ぎて岩手山が見えるとなぜかほっとしておだやかな気持ちになれるし、田舎に帰ったと実感する。帰省した際に本家の農作業を手伝い、きゅうりなどを選別している時間がとても気持ちの良い時間でもある。また、帰省時は同級生の上野真氏宅（上野旅館）に集まり、仲間と酒を飲むのが楽しみです。



ハワイ旅行(妻と)



ハワイでの家族写真(右端が筆者)

小谷地正司さんプロフィール

昭和20年12月9日生まれ68歳。(千葉県四街道市)

谷地行政区：屋号「川原子(からっこ)分家」兄妹：姉・兄・弟・弟の5人兄弟。趣味：ドライブ。

経歴 下長山小学校—雫石中学校—安藤工業—明電舎(沼津工場)—陸上自衛隊機甲科(東千歳)—日本通運—日通東京警備

雫石町へようこそ

お嫁さん

お婿さん



雫石総合運動公園にて家族一緒に

右…夫の秀一さん（33歳）

中央…娘の心花ちゃん（5カ月）

ご縁があり、町外から迎えられた
「お嫁さん」

やち ありさ
谷地 有紗さん（32歳 矢巾町出身）
（旧姓：梶原、谷地行政区在住）

Q- お二人の馴れ初めは？

- 共通の友人を通じて知り合いました。

Q- 雫石町に暮らしてみているいかがですか？

- 矢巾町と南昌トンネルで繋がっていることもあり、以前から身近に感じていました。実際に暮らしてみても、気さくで温かい方が多いです！

Q- 町へ望むことは？

- 観光地の多い町なので、公共交通機関の充実と駅周辺の活性化で、より人が集まる町になればと思います。

議会の主な動き 5月～7月

5月		6日	6月定例会開会（6/13まで）	2～4日	総務常任委員会県外視察
	7日	11日	総務常任委員会、教育民生常任委員会、産業建設常任委員会	4日	議会広報編集特別委員会
8～11日	台湾誘客要請活動（第1班）	12日	常任委員会全体会、議会改革特別委員会全体会	8日	議会運営委員会・教育民生常任委員会
	9日		議会運営委員会、議員全員協議会	9～11日	産業建設常任委員会県外視察
	13日	20日	豪雨災害対策特別委員会現地視察	14日	政務調査会
	15日	21日	在京町友会	15日	臨時議会、議会広報編集特別委員会
	23日	27日	産業建設常任委員会	16～18日	教育民生常任委員会県外視察
	28日	29日	雫石町消防演習	23日	雫石町農業委員と産業建設常任委員会との懇談会
29～6/1	台湾誘客要請活動（第2班）			24日	宮城県丸森町議会議会視察来庁 教育民生常任委員会
6月		7月			
	3日	1日	神奈川県座間市議会行政視察来庁、議会運営委員会		
	4日				

情報公開

●議長交際費執行状況

【議長交際費とは】
議長等が議会を代表し、外部との交渉、情報収集、町政協力者への謝意を表すために係る経費で、会費や香典などです。

【議長交際費内訳（4月～6月）】

月	葬祭費	お祝い、会費
4月	0件 ー円	7件 23,000円
5月	0件 ー円	5件 23,000円
6月	1件 5,000円	3件 10,000円
小計	1件 5,000円	15件 56,000円

■編集デスク

先日の梅雨晴れの朝ふと思い立ち、妻とゴルフへ出かけた。思えば50歳になろうという頃、60歳過ぎても二人でできるのはゴルフしかないと思い、自分より高いクラブを買ってあげ有無を言わずゴルフをやらせた。初めは嫌々ながらやっていたが、はまってしまったようだ。

このことと次元は異なるが、町政も少なくとも10年以上先を見据えながら事をなしていくことは、言わずもがなといえます。議会広報も先を見据えながらも“今”にも対応していかなければと、日々読者の立場・目線により良いものをと委員一丸で努力しております。

（編集委員 加藤真純）

●今号の表紙／本誌の表紙は、「まちの笑顔」シリーズでお届けいたしております。今回から、町内でがんばっている「スポーツ少年団」を紹介。第1回目は、「安庭野球スポーツ少年団」（代表：高橋充さん）です。毎週火・水・金曜日午後4時頃から安庭小学校校庭で練習をしています。